

# 平成26年 消防 出初式



常陸太田市(1/11)



## 新年号

発行所  
水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉会館内  
公益財団法人 茨城県消防協会  
編集発行人  
消防協会長 葉梨 衛  
印刷所  
富士オフセット印刷(株)  
1部 15円  
(購読料は年会費に含まれています)

新春を飾る消防出初式が、1月5日から13日までの4日間を中心に県内各地で挙行されました。今回は、常陸太田市及び水戸市消防出初式の様子をスナップ写真でご紹介いたします。



水戸市(1/12)



## 年頭に寄せて

公益財団法人  
茨城県消防協会 会長 葉梨 衛

平成二十六年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様と謹んでお祝いを申し上げます。消防団員・消防職員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災を始めあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務に精励されてお

## 新年のご挨拶

茨城県知事 橋本 昌



平成二十六年の新春を迎え、消防関係者の皆様と謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆様方には、本県の消防防災行政の推進に大変なご尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年は、東日本大震災や原発事故などの影響が依然として残る厳しい一年でありましたが、一方で、景気は緩やかに回復しつつあり、本県の昨上半期の工場立地件数が全国第一位となるなど、明るい兆しも見始めたとしております。本年は、震災からの復興をしっかりと進めるとともに、引き続き、行財政改革を進めながら、災害に強い県土づくりや風評被害の払拭、一層の企業誘致などに努め、「人が輝く元気で住みよい、いばらき」の実現に全力で取り組んでまいります。

中、地域の活力を維持し発展していくため、引き続き、広域交通ネットワークの整備や企業誘致を進めてまいります。また、最先端科学技術の拠点づくりや中小企業の振興、儲かる農業の実現、観光の振興などに一層力を入れ、「元気ないばらき」づくりに取り組んでまいります。さらに、喫緊の課題である医療や福祉の充実のため、医師確保や救急医療体制の整備などによる地域医療の充実をはじめ、結婚・子育て支援、高齢者の健康・生きがいづくり、障害者の自立支援、霞ヶ浦の水質浄化など、安全・安心・快適な生活環境の実現に取り組む「住みよいいばらき」づくりを進めてまいります。



高松市民防災センター前にて

助をはじめ、地震や風水害などの自然災害への対応等広範囲にわたる、さまざまな場面で地域住民の安心・安全確保に大きな役割を果たしているところでございます。しかしながら、一向に減ることはない火災や自然災害に対し、地域住民の安全・安心に対する意識が益々高まってきており、消防の責務も又一段と重要性を増しております。こうした状況にあって、皆様方消防人には、技術の向上と崇高な消防精神の高揚に加

え、強い団結力が求められております。本協会といたしましても、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の「安全・安心の確保」のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。特に、平成十九年度の理事会・評議員会で決議いたしました「女性消防団の結成促進に向けた取組み」につきましては、各消防団長さんをはじめ、関係者の皆様の熱意とご努力により、着々と実績を上げたところでございます。高松市では、東日本大震災の教訓を踏まえ、すべての消防団員が「自分の命は自分で守る」ことを最優先とした「津波災害時における安全管理マニュアル」を策定しており、今後発生する恐れのある本県の沿岸部の市町村においても、消防団活動に十分活用できるものとして大いに参考になりました。

## 平成二十五年度 理事研修会を実施

今年度の理事研修会は、十一月二十日から二十二日の日程で、高知県南国市と香川県高松市を襲撃会長はじめ理事十七名、県立消防学校二名、事務局二名で視察しました。高知県南国市では、南国市消防本部において、「平成二十年九月に発生した豪雨災害と南海地震に備えた対策について」と題して、南国市消防本部それぞれの担当職員から配布された資料や画像により説明を受けました。

豪雨災害では九月二十三日から二十五日にかけて、前線の停滞により建物や床上下床に浸水に見舞われ、高知県内では死者九名や負傷者、全壊家屋が発生するなど相当な被害を受け、また、南海トラフ巨大地震の津波対策としては、東日本大震災を踏まえ今年度中に「津波避難タワー」十四基が完成すること、説明終了後に建設中の避難タワーを視察しました。南国市では消防団員の安全対策として、団員全員にクギ等の踏み

避難タワー視察の様子

# 平成二十五年度 茨城県女性消防団 結成促進大会を開催

平成十九年度の当協会総会(理事・評議員会)決議『概ね三年程度で県内全市町村に女性消防団を結成する』を受けて、女性消防団の活動事例等を紹介しながら、女性消防団の結成を促進し、併せて県内女性消防団員の交流を促すため、七回目となる女性消防団結成促進大会を十二月十二日(総勢約四百名参加のもと、茨城県庁講堂)で実施しました。

大会では、最初に本県女性消防団員の中で知らない人はいない東京都赤羽消防団副団長の小澤浩子さんに「まちを守る力」を、私たちにできることとして、ご講演をいただきました。

次に、常総市消防団副団長の長の大原関京子さんから「第二十一回全国女性消防団法大会」に出場して、休憩を挟んだ後、利根町消防団分団長の地脇倫代さん他六名から「利根さんはどんな活動をしていますか?」と題して、それぞれから意見発表をしていただきました。

その後、常陸太田市消防団班長の茅根みつるさん他五名から「火事だーそのときどうする」、阿見町消防団部長の浅野幸子さん他六名から「子供向けの防火・防災教室」を、みなは「どうする?火事や地震が起きた時」と題して、火災予防啓発劇をそれぞれ演じていただきました。

最後にパネルディスカッションを行い、コーディネーターにはご講演いただいた東京都赤羽消防団副団長の小澤浩子さん、パネラーには、かずみづら市消防団団長の藤井裕一さん、桜川市消防団団長の皆川光吉さん、つくばみらい市消防団分団長の齋藤未穂さん、境町消防団員の高藤恭子さん、アドバイザーに茨城県生活環境部防災・危機管理課副課長補佐の大島寿哉さんをお願いし、約五十分間にわたり女性消防団員にのびのびとした活動や各所属消防団員への期待など、小澤さんの巧みなりどでお話しが聞け、参考になったと思います。

この大会の成果を参考に、今後の女性消防団活動が充実発展されることを期待いたします。

恒例の支部別消防団長等懇談会が、昨年十二月に県南北部支部と県南支部、年明け一月から残る四支部で順次開催されました。

出席者は、消防団長をはじめ消防長、消防主任並びに県から消防安全課長、消防学校長及び同職員、協会事務局で

【開催日程】

- 県南支部 五市
- 平成二十五年十二月十七日
- ホテルグランマリアージュ
- 県南支部 九市町村
- 平成二十五年十二月十九日
- 河内町役場
- 県北支部 九市町村
- 平成二十六年一月二十三日
- ひたちなか・東海広域事務組合消防本部
- 県央支部 六市町
- 平成二十六年一月二十四日



利根町女性消防団員からの意見発表



パネルディスカッションの様子



常陸太田市女性消防団員による寸劇

## 平成25年度 支部別消防団長等懇談会を開催

恒例の支部別消防団長等懇談会が、昨年十二月に県南北部支部と県南支部、年明け一月から残る四支部で順次開催されました。

出席者は、消防団長をはじめ消防長、消防主任並びに県から消防安全課長、消防学校長及び同職員、協会事務局で

【開催日程】

- 県南支部 五市
- 平成二十五年十二月十七日
- ホテルグランマリアージュ
- 県南支部 九市町村
- 平成二十五年十二月十九日
- 河内町役場
- 県北支部 九市町村
- 平成二十六年一月二十三日
- ひたちなか・東海広域事務組合消防本部
- 県央支部 六市町
- 平成二十六年一月二十四日

- 懇談会は、まず消防安全課
- (一) 茨城県消防ポンプ操法大会における入賞範囲
  - (二) 住宅用火災警報器の設置促進
  - (三) 平成二十六年度消防学校教育訓練計画案の概要
  - (四) 消防団員確保対策(消防団員優遇制度)
  - (五) 地方公務員の消防団への入団促進
  - (六) 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律概要

から、県消防ポンプ操法大会における入賞の範囲及び住宅用火災警報器の設置促進に向けた活動について、続いて県立消防学校から消防学校の教育訓練計画について、それぞれ説明を頂きました。

次に、消防団員の優遇制度を活用した消防団員確保対策の事例等について、遠藤事務局長から説明しました。

最後に、地方公務員の消防団への入団促進及び消防団を中核とした地域防災力の充実強化について六班がそれぞれの課題について発表しました。



県南北部支部団長等懇談会

## 日本消防協会主催 消防団幹部特別研修

日本消防協会主催による第四十回消防団幹部特別研修が、平成二十六年一月十四日から十七日まで、三泊四日の日程で実施され、本県からは

日本消防協会主催による第四十回消防団幹部特別研修が、平成二十六年一月十四日から十七日まで、三泊四日の日程で実施され、本県からは

### 「消防団幹部特別研修」に参加して

笠間市消防団 副団長 嶋田 清



この度、日本消防協会主催の第四十回消防団幹部特別研修に茨城県代表として参加させて頂きました。全国の消防団幹部の皆さんと研修を受ける事ができ、身に余る光栄で感激するとともに、あらためて身の引締まる思いでした。

この研修は、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、上級幹部に対し各種教育を行う消防団の指導者を養成する研修であり、三泊四日の日程で実施されました。

初日は、日本消防協会秋本会長より、時代の変化に対応する消防、地域防災の強化などの講話があり、又、参加者により課題研究討議・意見交換会を行い、それぞれいろいろな話を聞くことができました。

二日目は、消防庁危機管理センターを視察し、消防行政、防災対策の講話、又、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が制定され、消防団の重要性を再認識し責任の重さを痛感いたしました。

三日目は、聖路加国際メデイカルセンター日野原重明先生(百三才)からの講話の予定でしたが体調不良により中止となり、非常に残念でした。

四日目は、惨事ストレス対策として災害現場にて団員・被災者がさまざまなストレス障害をうつげることがあるというものでした。

その後、課題討議のまとめ

として六班がそれぞれの課題について発表しました。

この四日間の研修に参加して、私にとって幹部としての自覚を強くもたらしたのは各講師の先生の講話はもとより、ほか四十七名の幹部のみならず、多岐消防団活動、団員確保の問題などさまざまな話が出来た事です。その中でも印象に残ったことは、岩手県、宮城県、福島県及び兵庫県の幹部から震災の話を知った事です。はたして自分があるほどの災害をうけた場所の幹部であったらどう判断をし、団員を指揮し、団員・住民の安全を守るかです。

今後は、これまで以上に県・市町村と討議をして災害に対する環境整備、自主防災組織の取組みを充実強化しなければならぬと強く感じました。

最後に、公益財団法人茨城県消防協会葉梨会長を主として県内各消防団、ますますの

### 編集後記

明けましておめでとうございます。本年も協会の行事等に協力しご理解を頂きながら進めてまいりますので、引き続きよろしくお願い致します。

一月十二日に行われた消防出初式は、昨年と違い暖かい陽気のなかで行われ、カイロも使わず無事な終わりを迎えたのではないのでしょうか。とはいえ、寒さはまだまだ続きますので、消防活動には日々のお仕事に励んでください。

今年度も残すところあと一ヶ月余り、もう一頑張りです。ね。(せ)

全国シェアNo.1の消防車メーカー (株)モリタの各種消防自動車

常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目

小型動力消防ポンプ・消防用ホース 救助資機材・潜水機材・消防用被服 防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店 有限会社 鈴機

〒315-0014 石岡市国府5-2-25 TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店

株式会社入江電機工業所

本社 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614 (代表)  
FAX.029-224-4613

千波営業所 水戸市千波町海通付2027番地  
TEL.029-241-3636 (代表)  
FAX.029-244-0540

土浦営業所 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498 (代表)  
FAX.029-822-6575

トーハツ 小型ポンプ

充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客さまのご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式

茨城県代理店

トキワ産業株式会社

水戸市東原3-6-24  
TEL.029 (224) 3324(代)  
FAX.029 (224) 3360